



弟子の掟⑬

シリーズ～弟子道～

2011/10/9

弟子の掟(山上の垂訓)のアウトライン

●序論

- 幸いの教え
- 目標:地の塩・世の光となる, 豊かな義を実現

●本論(天国の標準を目指して)

- 律法をより質高く守る
- 善行をより質高く行う
- 生活をより質高く過ごす

●結論

- 追い求める・実を結ぶ・実行する

律法をより質高く守る

『殺すな。人を殺した者は裁きを受ける』

兄弟に腹を立てる者はだれでも裁きを受ける

『姦淫するな』

みだらな思いで他人の妻を見る者はだれでも、既に心の中でその女を犯したのである

『妻を離縁する者は、離縁状を渡せ』

不法な結婚でもないのに妻を離縁する者はだれでも、その女に姦通の罪を犯させることになる

律法をより質高く守る

『偽りの誓いを立てるな。主に対して誓ったことは、必ず果たせ』	一切誓いを立ててはならない
『目には目を、歯には歯を』	だれかがあなたの右の頬を打つなら、左の頬をも向けなさい
『隣人を愛し、敵を憎め』	敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい

善行をより質高く行う

- <施し>「施しをするときは、右の手のすることを左の手に知らせてはならない。」
- <祈り>「あなたが祈るときは、奥まった自分の部屋に入って戸を閉め、隠れたところにおられるあなたの父に祈りなさい。」
- <断食>「断食するとき、頭に油をつけ、顔を洗いなさい。」
- 人に見せるためではなく天の父に見てもらう

生活をより質高く過ごす

- <富>「富は、天に積みなさい。」
- 「体のともし火は目である。目が澄んでいれば、あなたの全身が明るい」
- 「あなたがたは、神と富とに仕えることはできない。」
- <衣食住>「『何を食べようか』『何を飲もうか』『何を着ようか』と言って、思い悩むな。」
- 「何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはみな加えて与えられる。」
- <裁くな>「人を裁くな。あなたがたも裁かれないようにするためである。」

マタイ福音書7章15～23節

15 偽預言者を警戒しなさい。彼らは羊の皮を身にま
とってあなたがたのところに来るが、その内側は貪欲
な狼である。16 あなたがたは、その実で彼らを見分け
る。茨からぶどうが、あざみからいちじくが採れるだろ
うか。17 すべて良い木は良い実を結び、悪い木は悪
い実を結ぶ。18 良い木が悪い実を結ぶことはなく、ま
た、悪い木が良い実を結ぶこともできない。19 良い実
を結ばない木はみな、切り倒されて火に投げ込まれる。
20 このように、あなたがたはその実で彼らを見分ける。



21 わたしに向かって、『主よ、主よ』と言う者が皆、
天の国に入るわけではない。わたしの天の父の御
心を行う者だけが入るのである。22 かの日には、
大勢の者がわたしに、『主よ、主よ、わたしたちは
御名によって預言し、御名によって悪霊を追い出し、
御名によって奇跡をいろいろ行ったではありません
か』と言うであろう。23 そのとき、わたしはきっぱ
りと言おう。『あなたたちのことは全然知らない。
不法を働く者ども、わたしから離れ去れ。』

本物の弟子は実を結ぶ

- 弟子の群れを破壊する「偽預言者」が現れる
 - 「偽預言者」とは「偽弟子」のことである
 - 無害に見える(羊)が、実は危険である(狼)
- 本物かどうかは実で見分けられる
 - 普段の様子だけでは分らない。
- 本物の弟子である証拠の実とは
 - 品格の形成(霊の結ぶ実)
 - 祝福される人間関係(家族・友人)
 - 新しく生まれる弟子たち

本物の弟子は天の父の御心を行う

- イエス様の名前を呼びさえすれば弟子になれるわけではない
 - 助けて欲しい時だけイエス様の名を呼ぶ
- 癒しや奇跡を行ったとしても弟子になれるわけではない
 - 人が驚くような業を行ったからと言って、イエス様の弟子ではない
- 天の父の御心を行う者だけが本物の弟子
 - 弟子の掟を実行すること